価格.com

2012 年 9 月 20 日
株式会社カカクコム

価格.comリサーチ 『電子書籍』に関する調査結果

電子書籍の利用率は“2 割弱”、使用端末はタブレット 45.5%、スマホ 35.8%

利用者の約 7 割が専用リーダーに興味、注目度トップはAmazonの「Kindle」

携帯性の高さ・手軽さにメリット感じるも、“85.4%”はコンテンツ価格が高いと回答

普及拡大の鍵は、「コンテンツの低価格化」と「コンテンツ拡充」にあり！？

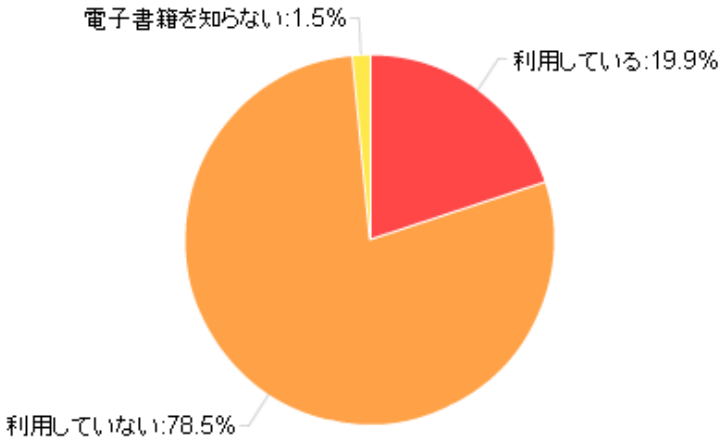
URL：http://kakaku.com/research/report/065/

株式会社カカクコムが運営する購買支援サイト「価格.com(http://kakaku.com/)」が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第 65 回『電子書籍についてのアンケート！-新製品続出！電子書籍専用リーダー使いたい？-』の調査結果を一部抜粋の上、ご案内します。

利用率：利用していない人が 8 割超。若年層の利用率が高い結果に

アンケート実施時点で電子書籍の利用率は 19.9%。残りの 8 割強は電子書籍を使っていないという現状が見えてきた。年代別に見ると、20 代では電子書籍の利用率が 31.7%で、若年層のほうが、現状では電子書籍の利用率は高いといえる。

【図 1.　電子書籍の利用率】

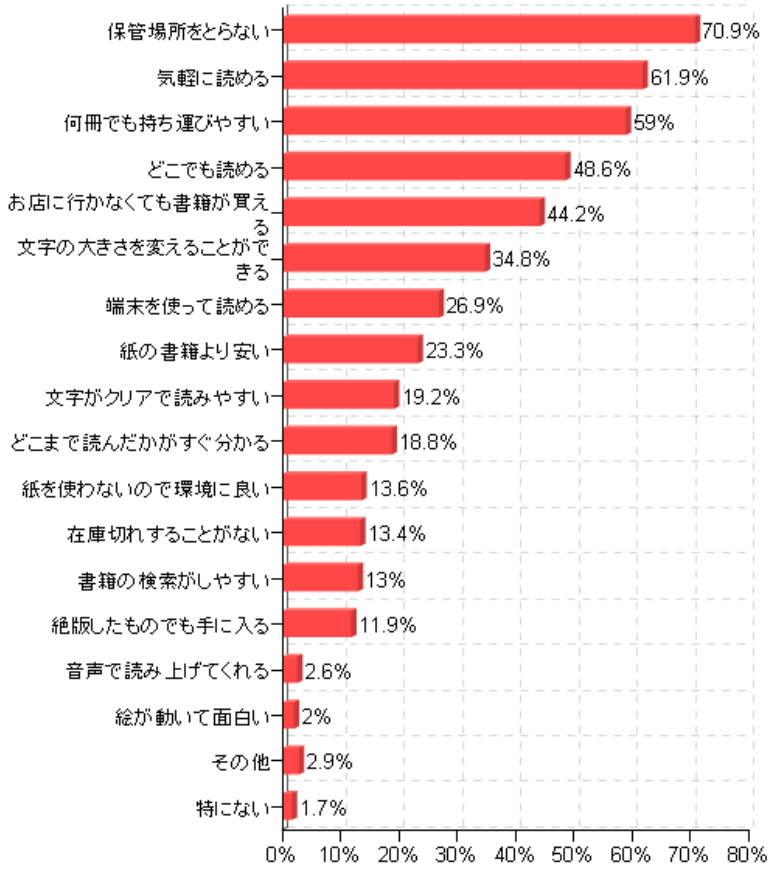


◆「電子書籍の利用率」年代別集計結果はこちら http://kakaku.com/research/report/065/index.html

満足な点：「保管場所をとらない」が 7 割超、「携帯性の高さ・手軽さ」に回答集まる。「コンテンツの価格」や「付加機能」の満足度は低め

電子書籍の利用者を対象に、電子書籍の満足な点を聞いた。もっとも多かった回答は「保管場所を取らない」で 70.9%。他の回答からも、携帯性の高さ・手軽さにメリットを感じている人が多いようだ。逆に、本来はメリットであるはずなのに、あまり実感されていない点としては、「紙の書籍より安い」「文字がクリアで読みやすい」「書籍の検索がしやすい」などがあげられる。特に電子書籍コンテンツの価格は、現状、紙の書籍とほぼ変わらないため、あまりメリットとして感じられていないことが普及の障害のひとつとなっていることも予想される。また、音声や動画などの付加機能についても、ほとんどメリットとして感じられていないようだ。

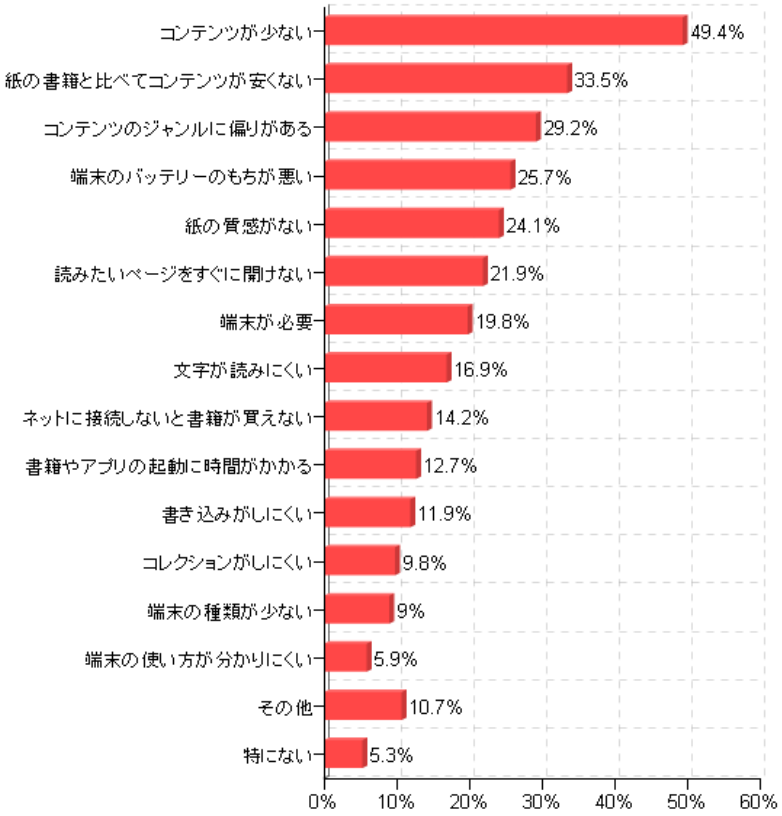
【図 2.　電子書籍の満足な点（複数回答）】



不満な点：「コンテンツの少なさ」(49.4%)がダントツ。次いで「コンテンツの価格」

電子書籍の不満な点で多かったのは「コンテンツが少ない」こと(49.4%)。日本国内で電子書籍普及がなかなか進まない理由のひとつとして、日本語によるコンテンツの数の不足があげられている。利用者もこの点については、かなり不満に思っていることが明らかとなった。

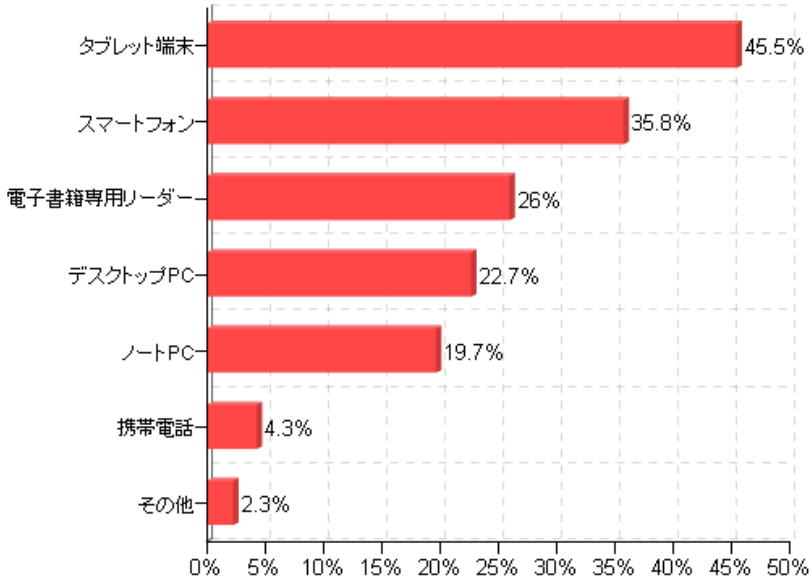
【図 3.　電子書籍の不満な点（複数回答）】



利用するデバイス：「タブレット端末」（45.5%）がトップ、次いで「スマートフォン」（35.8%）、「電子書籍専用リーダー」(26.0%)

電子書籍の利用者が使っているデバイスでもっとも多かったのは「タブレット端末」で 45.5%。最近のタブレット端末の普及拡大によって、電子書籍自体もより利用されるようになってきたことがわかる。続いて多かったのは「スマートフォン」。スマートフォンは画面サイズが 3～5 インチクラスで電子書籍を読むのには若干不利な感が否めないが、コミックなどを中心に利用するユーザーが多いようだ。なお、専用の「電子書籍リーダー」に関しては 26.0%という状況となっている。

【図 4.　電子書籍を利用するデバイス（複数回答）】



今後の利用意向：「読みたい」（52.8%）と「読みたくない」（47.2%）で意見が割れる。20 代と 60 歳以上で期待値が高め

電子書籍を利用していない人を対象に、電子書籍を今後読んでみたいかどうかを聞いたところ、52.8%が「読みたい」、47.2%が「読みたくない」と、ほぼ半数に意見が分かれた。
年代別では、「読みたい」の割合が 20 代は 58.4%、50 代では半数を割り込んだ。なお、60 歳以上になると、逆に「読みたい」の割合が 55.3%へと上がった。シニア層は自由に使える時間が増え、読書への関心が高くなるため、この結果につながったと考えられる。
◆「電子書籍を今後読んでみたいか」グラフ　http://kakaku.com/research/report/065/p04.html

専用リーダーへの興味：66.0%が「興味がある」。ただし所有率は 6.6%と低い結果に

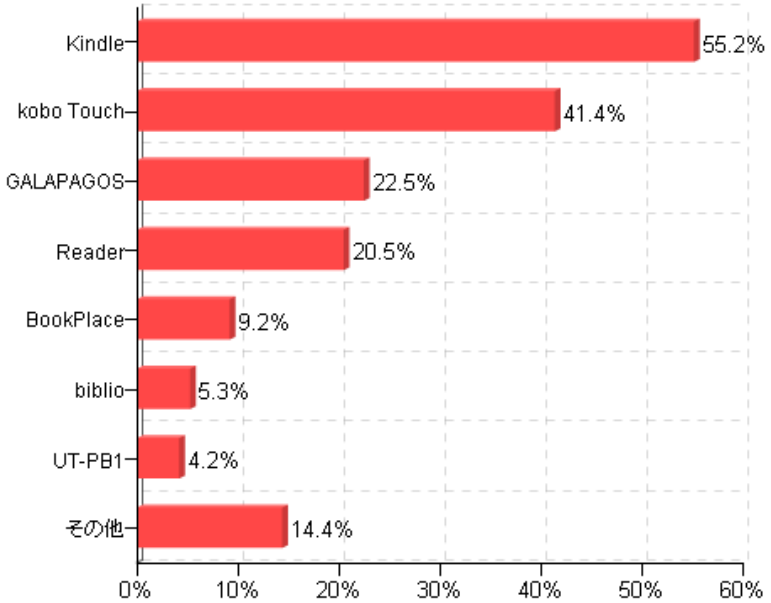
電子書籍を利用している人と、今後利用したいと思っている人を対象に、「電子書籍専用リーダー」への興味の程度を聞いたところ、「興味がある」が 66.0%を占めた。なお、このうち「すでに持っている」と回答した人は全体の 6.6%ほどしかなく、普及率は高くない。
◆「電子書籍専用リーダーへの興味」グラフ　http://kakaku.com/research/report/065/p05.html

興味のある専用リーダー：「Kindle」55.2%でトップ。「kobo Touch」も 41.4%と高い注目度

電子書籍リーダーの所有者と、「興味がある」と答えた人を対象に、興味のある電子書籍リーダーの種類を答えてもらった。トップはAmazonの「Kindle」で 55.2%。日本上陸も時間の問題と言われているだけに、利用者の関心も高いようだ。次点は、楽天が発売した「kobo Touch」で 41.4%。次いで、シャープ「GALAPAGOS」と、ソニー「Reader」が続くが、上記の「Kindle」「kobo Touch」に比べると、価格が高めなこともあって、やや水を開けられた形となった。

※ソニーの「Reader」に関しては、本アンケート調査の最終日である 9 月 3 日に新モデル「PRS-T2」を 9,980 円で発売すると発表されたため、新モデルへの関心度は本調査には反映されていない。

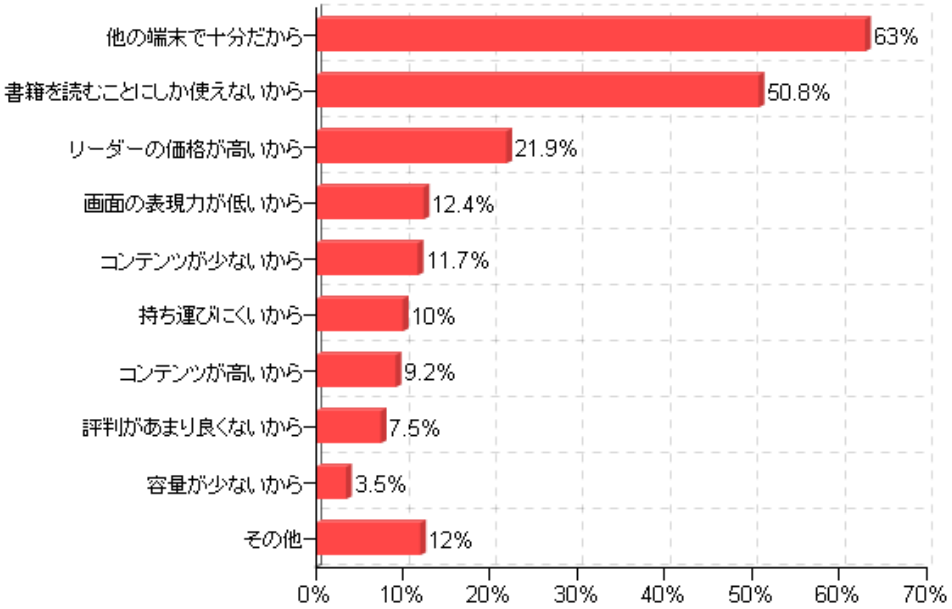
【図 5.　興味のある電子書籍専用リーダー（複数回答）】



専用リーダーに興味がない理由：「他の端末で十分だから」（63.0%）と「書籍を読むことにしか使えないから」（50.8%）に回答が集まる

電子書籍専用リーダーに「興味がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、回答は「他の端末で十分」と「書籍を読むことにしか使えない」の 2 種類にほぼ集約された。専用リーダーでなくても読むことができ、「iPad」などのタブレット端末を使って電子書籍を読む人が増えていることが理由として考えられる。また、「リーダーの価格が高い」という意見も 21.9%にのぼったが、先日発売された「kobo Touch」や、ソニーの新モデル「PRS-T2」のように、1 万円を切る端末も登場してきていることから、価格の問題は徐々に解消されつつある。

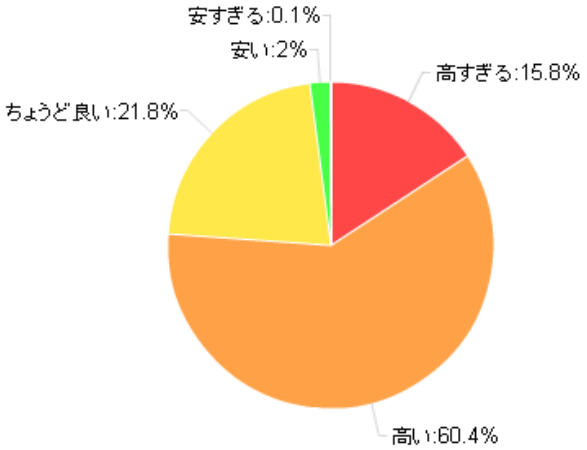
【図 6.　電子書籍専用リーダーに興味がない理由（複数回答）】



電子書籍コンテンツの価格について：“高い”と感じている人が 85.4%

電子書籍の利用者および利用したいと思っている人を対象に、電子書籍コンテンツの価格について聞いたところ、85.4%が高いと感じているという結果になった。【図 3】で見たように、電子書籍の利用者でも「紙の書籍に比べてコンテンツが安くない」と感じている人が全体の 3 割程度いるが、今後利用したいと思っている人を合わせると 8 割以上が、電子書籍コンテンツの価格を高いと感じている。

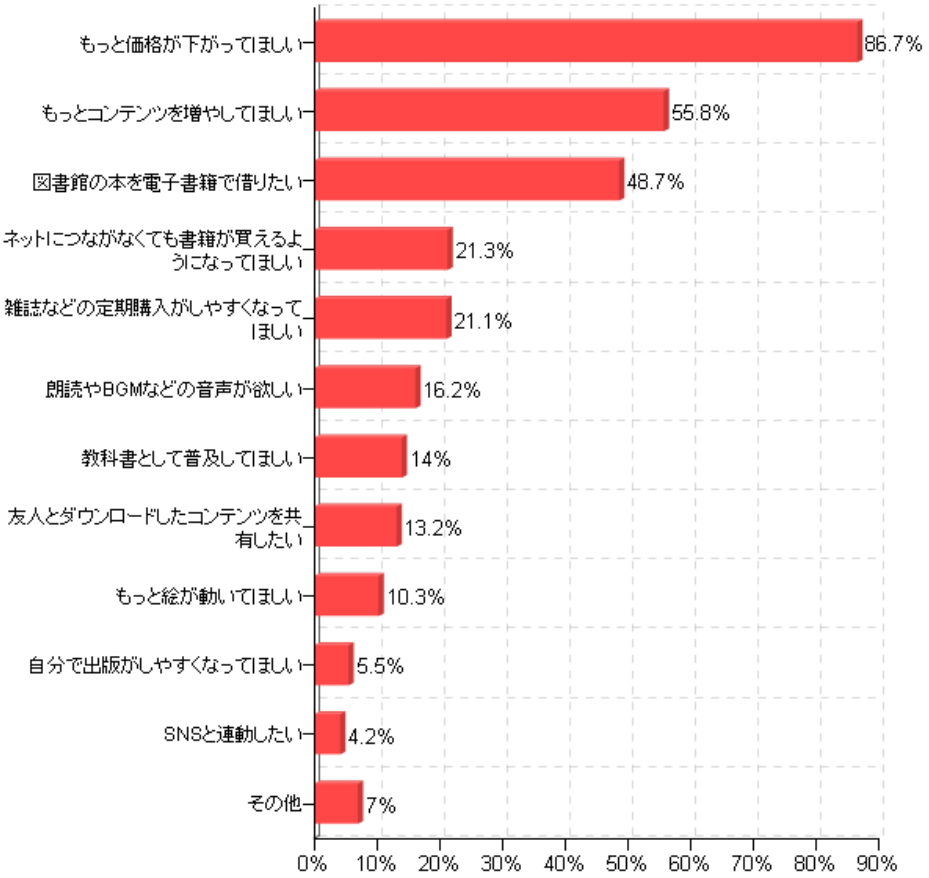
【図 7.　電子書籍コンテンツの価格についての感想】



電子書籍に今後期待すること：「もっと価格が下がってほしい」(86.7%)がダントツ、次いで「コンテンツの拡大」(55.8%)

電子書籍の利用者および利用したいと思っている人を対象に、電子書籍に今後期待することを聞いた。もっとも多かったのは「もっと価格が下がってほしい」(86.7%)。続いて「もっとコンテンツを増やしてほしい」が 55.8%で続く。

【図 8.　電子書籍に今後期待すること】



総評(一部抜粋)：鎌田剛　カカクコム メディアクリエイティブ部 部長

電子書籍の利用率は、アンケート対象者全体の 2 割弱にとどまった。また、現在電子書籍を利用していない人は全体の 8 割を占めるが、その約半数（すなわち全体の 4 割）は、今後も利用意向がないという結果になった。つまり、今後も利用意向がない人を除くと、電子書籍を利用したり、興味を持っている人は全体の 6 割程度にとどまる。

電子書籍の利用端末としては、タブレット端末が 45.5%ともっとも多く、2 位のスマートフォンを 10 ポイント近く上回った。利用している電子書籍ストアでは、アップルの「App Store」がダントツトップの結果になっており、特にアップルの「iPad」のユーザーが多いことをうかがわせる。以前からパソコンや携帯電話で電子書籍を利用していたという層を除くと、最近になって電子書籍の利用者が加速度的に増えているが、これには主にタブレット端末、とりわけ「iPad」の普及が大きく影響していると考えられる。

その陰で、専用の電子書籍リーダーの人気は思わしくない。この 7 月に 7,980 円という低価格で登場した「kobo Touch」は、専用ストアの利用者が、すでに電子書籍利用者の 1 割程度（複数回答）のシェアを占めるに至っているが、これ以外のリーダー専用ストアのシェアは 5%程度にとどまった。その理由としては、本体価格が高いこともあるが、やはりタブレット端末の利便性には勝てないというものが多い。なお、今後購入したいと思うリーダー端末としては、Amazon の「Kindle」が 50%を超える支持率でトップとなっており、近々と噂されている日本上陸が待ち望まれていることがわかる。

なお、電子書籍の満足な点としては、携帯性の高さにメリットを感じている人が多いが、不満としてはコンテンツ面の未整備と価格の高さをあげる人が多い。特に、コンテンツ価格については、電子書籍に興味を持っている人の 8 割以上が「高い」と感じており、これが国内での電子書籍の普及にとって大きな障壁となっていることは間違いない。今後期待することでも、「もっと価格が下がってほしい」「もっとコンテンツを増やしてほしい」といった声が多く、この 2 点をクリアしないことには、国内の電子書籍普及はなかなか難しいだろう。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下 URL をご参照ください
http://kakaku.com/research/backnumber.html

【調査パネル】
調査エリア：全国　調査対象：価格.comID 登録ユーザー
調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査
回答者数：5,847 人　男女比率：男性 91.1%、女性 8.9%
調査期間：2012 年 8 月 28 日～2012 年 9 月 3 日
調査実施機関：株式会社カカクコム

【価格.com サイトデータ】（2012 年 8 月末現在）
月間利用者数 3,381 万人、月間ページビュー8 億 2,737 万 PV、累計クチコミ件数約 1,500 万件。
＜利用者内訳＞PC：2,589 万人　スマートフォン：619 万人　フィーチャーフォン：174 万人

【報道に関するお問い合わせ先】
株式会社カカクコム　広報室　内山・石橋・甲斐
e-mail: pr@kakaku.com　Tel: 03-5725-4554

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例
・「価格.com リサーチ」調べ
・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…